

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会  
第 36 回 LLW 放射能評価分科会議事録

1. 日時： 2018 年 4 月 24 日（火） 13 時 30 分～16 時 30 分
2. 場所： 原子力安全推進協会 第 3・4 会議室
3. 出席者（順不同，敬称略） 開始時  
（出席委員） 川上（主査），北島（幹事），高橋，新津，泉田，尾崎，松居，田辺，田中（雄），  
佐々木，見上，三宅，伴場，脇，池戸（15 名）  
（代理出席委員） 相澤，吉岡，林（宏）（3 名）  
（常時参加者） 井上，田中（正），林（隆），梅原，漆戸，乾，本山（7 名）  
（欠席常時参加者） 石屋，柏木，西尾，林（宏），中野，副島（6 名）  
（オブザーバー） 宮田，加藤（2 名）

4. 配付資料

- F10Ph2SC36-0 第 35 回 LLW 放射能評価分科会 議事録案
- F10Ph2SC36-1 人事について
- F10Ph2SC36-2-1 第 74 回原子燃料サイクル専門部会議事録案(抜粋)
- F10Ph2SC36-2-2 第 72 回標準委員会議事録案(抜粋)
- F10Ph2SC36-3-1 L2L3 放射能評価標準 L2L3 放射能評価標準 本報告案 (A3 版)
- F10Ph2SC36-3-2 L2L3 放射能評価標準 L2L3 放射能評価標準 本報告案 (PPT)
- F10Ph2SC36-4 「LLW 放射能評価分科会」の審議の基本計画
- F10Ph2SC36-参考 1 LLW 放射能評価分科会 (F10Ph2SC) 委員名簿
- F10Ph2SC36-参考 2 LLW 放射能評価分科会 (F10Ph2SC) の基本工程
- F10Ph2SC36-参考 3 ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順(案)

5. 議事

(1) 出席委員の確認

北島幹事より，開始時点で委員 18 名中 17 名の出席があり（代理出席含む），決議に必要な委員数（12 名以上）を満足している旨報告があった。

(2) 前回議事録案の確認

北島幹事より，前回分科会の議事録案について説明があり，誤字を修正することを前提として承認された。

(3) 人事について

北島幹事より，委員の退任及び新委員の選任並びに常時参加者の登録解除及び登録が報告され，承認された。

(4) L1 放射能評価標準 制定について

北島幹事より, L1 放射能標準に対する公衆審査での意見への回答案をシステム安全専門部会及び標準委員会に報告し, 審議の結果, 当該回答案を意見提出者に連絡すること及び当該回答案を反映した標準改定原案を制定することが決議された旨の報告があった。

(5) L2L3 放射能評価標準本報告案について

北島幹事及び本山常時参加者より, L2L3 放射能評価標準本報告案について説明があり, 以下の質疑応答, コメントがあった。また, 本山常時参加者より, L2L3 放射能評価標準改定全体案について説明があり, 以下の質疑応答, コメントがあった。

F10Ph2SC36-3-1 L2L3 放射能評価標準 本報告案 (A3 版)

- ・ 2. 改定の経緯 及び 4. 改定の要点 C1-36 について、「新たな重要核種」との表現を「新たな主要核種」に修正すること。  
⇒拝承。

F10Ph2SC36-3-2 L2L3 放射能評価標準 本報告案 (PPT)

- ・ P3 浅地中ピット処分対象廃棄体 (L2) の「廃棄体の製作／検査」標準は、現在標準化検討中であることから、白丸のみとし、「策定中」との文言は削除すること。  
⇒拝承。
- ・ P7, P12 C1-36 について、「新たな重要核種」との表現を「新たな主要核種」に修正すること。  
⇒拝承。
- ・ P11 スケーリングファクタ等の継続使用方法の規定化の内容についても概略を示すこと。  
⇒拝承。
- ・ P14 スケーリングファクタ法の箇所について、「相関関係がある筈であり」との文言を、標準(案)における記述と整合するよう、「相関関係があることが明らかな場合で」に修正すること。  
⇒拝承。

F10Ph2SC36-参考 3 ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順(案)

- ・ P106 単位について、Bq/t が用いられているが、標準では t は用いず、kg とすること。他の該当箇所も同様。  
⇒拝承。
- ・ P107 Key 核種の先頭文字 K が小文字になっているので、大文字に修正すること。他の該当箇所も同様。  
⇒拝承。
- ・ P111 図 D. 3 の Cs-137 のスペクトル図が実際とは異なるので、修正すること。  
⇒拝承。確認の上、修正する。
- ・ P122 c) の標題のフォントを太字に修正すること。他の標題箇所についても同様。  
⇒拝承。
- ・ P122 用語について、「検出下限」と「検出限界」が混在している。統一すること。他の該当箇所も同様。

- ⇒拝承。「検出下限」に統一する。
- ・ P122 「Bootstrap」について、英語標記とカタカナ標記が混在している。統一すること。他の該当箇所も同様。  
⇒拝承。「英語標記」に統一する。
  - ・ P132 「表 F. 3」に試料の採取頻度が具体的に記載されているが、代表性をも付けることは困難なので、記載の運用は難しい。JNES レポートからそのまま引用している旨を明示し、その解釈を記述すること。  
⇒拝承。
  - ・ P140 「把握ため」を「把握するため」に修正すること。  
⇒拝承。
  - ・ P162 線量換算係数の単位が「 $(\mu\text{ Sv/h})/(\text{Bq/cm}^2)$ 」と記載されているが、他の箇所と括弧の使用方法が異なるので修正すること。  
⇒拝承。
  - ・ P163 図 G. 19 の縦軸の単位が間違っている。修正すること。他の該当箇所も同様。  
⇒拝承。
  - ・ P166 図 G. 24 に、「X Axis Title」や「Y Axis Title」との文言が見られる。図の作成時の出力が残っていると考えられるので消すこと。他の該当箇所も同様。  
⇒拝承。
  - ・ P170 図 G. 30 において、「photon」の綴りが間違っているので修正すること。他の該当箇所も同様。  
⇒拝承。

#### (6) 標準改定の全体計画

北島幹事より、LLW 放射能評価分科会の基本工程について、説明が行われた。5月24日の原子燃料サイクル専門部会で、(5)の資料を用いて本報告を行う。

#### 6. 次回の予定

次回分科会は、2018年8月2日(木)(13:30～, 原子力安全推進協会の会議室)とし、正式な案内は、別途、事務局から連絡する。

以 上